戸越公園駅周辺まちづくりビジョン
駅前広場計画編　概要版

２０２１年（令和３年）５月　品川区

駅前広場計画編の策定にあたって

東急大井町線戸越公園駅には、現在、駅前にゆとりのある空間が不足していることから、歩行者と自動車等が交錯するおそれがあるとともに、地域のイベントで人々が交流できる空間や待合せができる憩いの空間が無い等の課題を抱えています。

また、駅前にタクシーや自家用車等の車両が待機できる空間がないため、乗換えが不便となっており特に高齢者や障がい者の方にとって駅へのアクセスが困難な状況にあります。

そこで、今回このような課題を解決し、駅周辺のにぎわいや利便性、安全性の向上等を図るため、駅前広場へ導入する機能や規模など基本的な考え方を取りまとめた「戸越公園駅周辺まちづくりビジョン駅前広場計画編」（以下、駅前広場計画編）を策定しました。

1　駅周辺の課題

（１）ゆとりのある空間が不足しています！
【滞留空間の不足】

駅前にゆとりのある空間が不足しているため、歩行者と自転車の動線が重なり、交錯するおそれのある危険な箇所があります。　等

（２）待合せ等できる空間が不足しています！
【交流空間の不足】

地域の玄関口にふさわしいにぎわいの空間や地域の方々が待合せや休憩等で利用できる空間が不足しています。　等

（３）災害時に避難できる空間が不足しています！
【防災機能の拡充】

駅周辺には、木密地域が広く分布しており、震災時に一時的な避難場所となる広場空間が不足しています。　等

（４）安全に乗換えできる空間が不足しています！
【交通結節機能の不足】

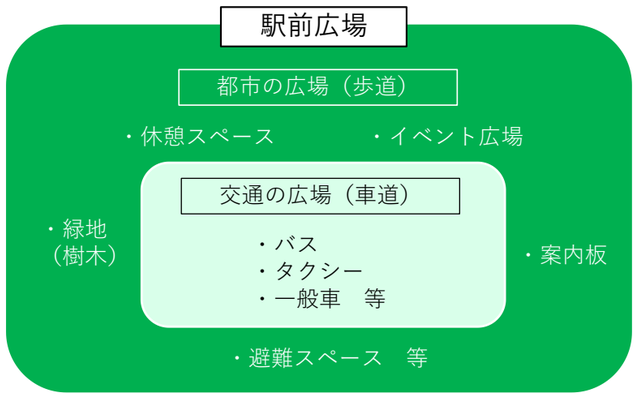
駅前には車両が待機できる空間がないため、乗換えが不便となっており特に高齢者等にとって駅へのアクセスが困難な状況にあります。　等

5　駅前広場に導入する機能や施設

駅前広場に導入する機能や施設については、関係事業者や地元活動組織等と連携・調整を図りながら検討していきます。

休憩スペース

緑地（樹木）



案内板

バリアフリー対応

6　今後の進め方

今後は、現在、東京都において事業化に向けた具体的な検討が進められている東急大井町線戸越公園駅付近の鉄道立体化に併せて駅前広場の整備や周辺の道路整備等まちづくりを一層推進していきます。

以下に、都市計画事業として駅前広場を整備する場合の一般的な都市計画決定までの流れを記します。

駅前広場計画編の策定 → 都市計画原案の作成 → 都市計画原案の説明会開催 → 都市計画案の作成 → 都市計画案の説明会開催 → 都市計画案の公告・縦覧 → 品川区都市計画審議会の開催 → 都市計画決定

駅前広場計画編の内容に関するご質問やご意見等ありましたら、次の連絡先までご連絡下さい。

［お問い合わせ先］
品川区　都市環境部　都市開発課　立体化担当
〒140-8715 品川区広町 2-1-36 品川区役所本庁舎 6 階
Tel：03-5742-6962、Fax：03-5742-6942
E-mail：kaihatsu-rittai@city.shinagawa.tokyo.jp

駅前広場計画編の詳細は、左の二次元バーコードを読み取ると区ホームページからアクセスできます!!

2　駅前広場の基本方針

■都市の広場としての視点

（1）地域の玄関口にふさわしい広場空間を創出します！【地域生活拠点の形成】

・地域生活拠点の核となる駅、高い生活利便性を支える商店街、みどり豊かな戸越公園を結ぶ拠点としてまちの第一印象を形成する空間を創出します。

・バリアフリーに配慮したゆとりのある歩行者空間を確保します。

（2）地域や来街者の方であふれるにぎわいの広場空間を創出します！【にぎわい空間の創出】

・駅利用者だけの空間ではなく、地域の方々が憩い、集い、語らう場として、日常生活を豊かにする心地よい空間を創出します。

・地域の方々がイベント等で活用できるオープンで柔軟な使い方が可能な空間を創出します。

・隣接する再開発と連携し、駅前や商店街のにぎわいと連続した広場空間を創出します。

（3）戸越公園を連想するみどり豊かな広場空間を創出します！【みどり豊かな景観の形成】

・地域の顔となるよう、駅名の由来でもある戸越公園を連想するようなみどり豊かな空間を創出します。

（4）誰もが分かりやすい案内誘導を含めた広場空間を創出します！【サービス機能の向上】

・来街者の方が商店街や戸越公園など目的地へスムーズに移動できるよう案内板やサインの設置などサービス機能の向上を図ります。

（5）災害時に一時的に避難できる広場空間を創出します！【防災機能の確保】

・災害時の一時的な避難場所として防災性の高い空間を確保します。

・広域避難場所（戸越公園一帯）等における緊急車両の活動を補完する拠点として、緊急車両がアクセスできる空間を確保します。

■交通の広場としての視点

（6）誰もが安心して乗り降りできる広場空間を創出します！【交通結節機能の確保】

・誰もが駅までアクセス可能なタクシーや自家用車の乗り入れできる空間を創出します。

・将来の交通ネットワークを見据えバスの乗入れ空間を確保します。

【都市の広場例（イベント広場）】

＋

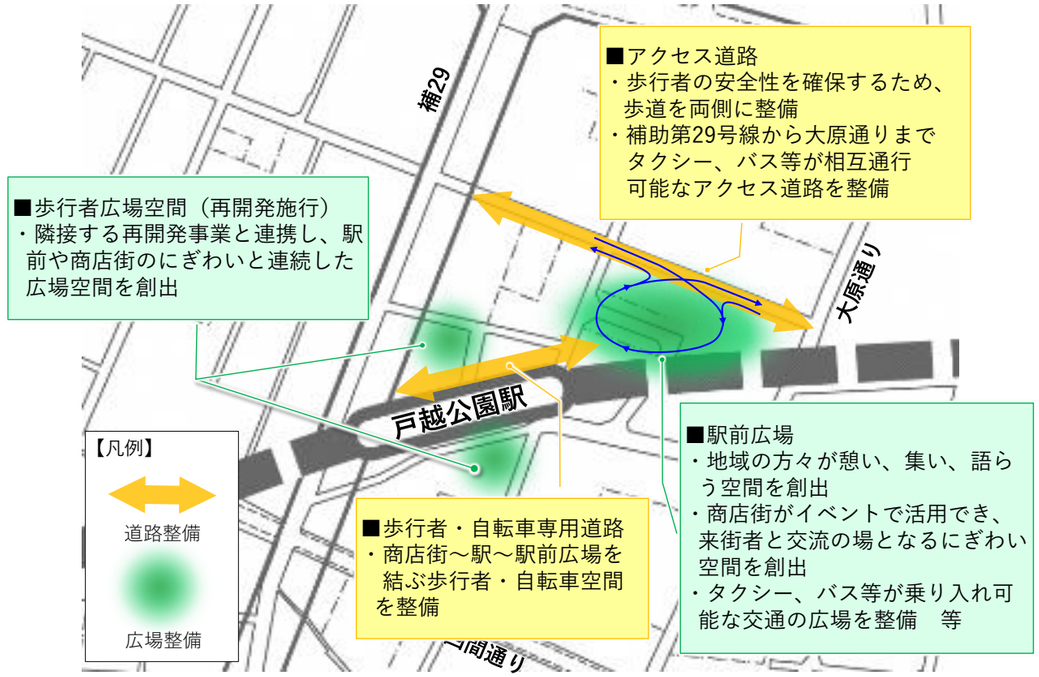
【交通の広場例（タクシー乗降場）】

3　駅前広場の位置

駅前広場の位置は、歩行者と自動車の錯綜回避（安全性）、商店街や戸越公園等のまちとの連続性（にぎわい）、戸越公園駅へのアクセスのしやすさ（利便性）等の視点から複数の候補地を比較・評価し、最も有効な 9 番地区を基本に駅前広場の整備イメージを検討することとします。

7番地区	・補助第29号線の横断は無いが、駅との距離が離れている。
9番地区	・商店街の連続性が確保されるとともに、戸越公園へのアクセスが良い。
10番地区	・商店街の機能維持や防災性の向上を図るため、再開発事業が進行中で、広場のスペースが限られる。
駅西側	・補助第 29 号線の車道横断が必要で、商店街西側の連続性が無くなる。

4　駅前広場の整備イメージ

駅前広場は、歩行者の安全性確保や連続した商店街の形成等の視点から、次のような整備イメージに基づき検討することとします。

なお、検討に当たっては、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」など関係法令を遵守します。